

くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2022. 10. 6 NO. 356

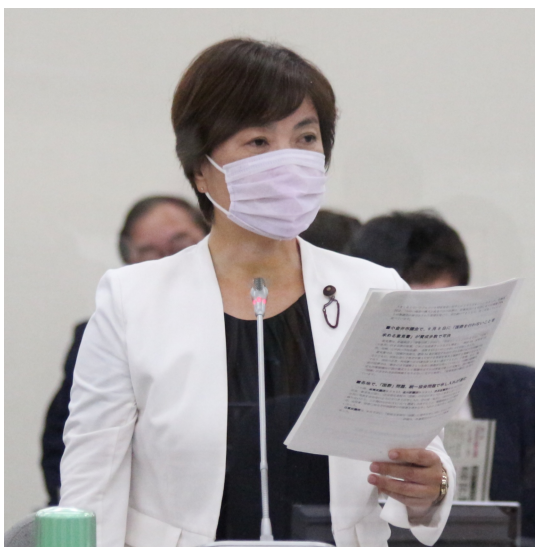
連絡先 荻窪5-15-19-704 電話 080-5531-8236

区議会控室 3312-2111(内)2319 FAX 3312-2610



岸本区政のもとで高齢者施策が前進

補聴器購入費助成「実施に向け検討」へ



私は、これまで毎回の予算・決算委員会で補聴器購入費助成の実施を求めてきました。が、前・田中區政は背を向け続けました。

岸本區政のもとで、党区議団の論戦が実り、区政が大きく前進しつつあります。助成制度の実現に向けて、引き続き力を尽くします。

質問に対し、岸本區長は「今のコロナ禍、物価高騰の中で考えていかなければいけない。(中略)検討だけでなく実施に繋げていきたい。」と答弁。所管課長も「実施に向けて検討する」としました。実施時期を確認したところ、区は「中身を今ついでに」と答弁しました。

速やかな実施を求める

高齢者の日常生活用具給付事業については、東京都の高齢社会対策区市町村包括補助事業補助金を活用することができます。しかし、杉並区は他区と比較しても包括補助金の活用が進んでおらず、桁違いに低い状況です(下表)。

包括補助金は、高齢者の補聴器購入費への助成にも活用することができ、23区では15区が実施、2区が今後実施する予定ですが、杉並区は実施していません。

岸本區政で前向きな検討 党区議団の論戦が実る

10月5日の決算特別委員会で、私は、高齢者日常生活用具給付が他区と比較しても異常に遅れている実態を指摘。改善を求めると共に、高齢者の補聴器購入費助成制度を実施するよう迫りました。

都の包括補助を使った高齢者日常生活用具給付 決算・実績額(杉並区と他区比較)について

	包括補助を使った高齢者日常生活用具給付	R2年度決算	R3年10月末
杉並区	入浴補助用具、腰掛便座、据置型手すり	26,235	59,160
江東区	シルバーカー、入浴補助用具、補聴器	31,430,000	15,630,000
荒川区	シルバーカー、手すり、入浴補助用具、杖	10,172,030	4,224,066
台東区	腰掛便座、歩行支援用具、入浴補助用具、シルバーカー、防水シート	9,062,341	5,478,990
墨田区	シルバーカー、補聴器	8,805,950	5,407,660
足立区	補聴器、シルバーカー	5,928,000	3,681,000
大田区	補聴器	1,600,000	920,000

(単位:円)

岸本区長のもとで住民サービスが向上

杉並区の高すぎる施設使用料 引き下げへ

近隣区との比較でも異常に高額 岸本区長が見直しを表明

決算特別委員会で、党区議団の山田耕平議員は、杉並区の区立施設使用料が近隣区と比較しても異常に高い実態を明らかにし、使用料負担の引き下げを求めました。

杉並区の施設使用料は前・田中区政のもとで改悪が続けられ、登録団体減額制度の廃止や使用料算定対象経費に建物の減価償却費等が組み込まれた結果、近隣区と比較しても2倍〜3倍の異常な高額となっています（左表）。一部見直しが行なわれましたが、負担は重い状況です。

	室名	平米数	定員	使用料
杉並区	浜田山会館 第1集会室	42.7㎡	30人	1400円
杉並区	荻窪地域区民センター 第1集会室	71.8㎡	45人	2500円
中野区	南中野区民センター 洋室1号	68㎡	30人	600円
中野区	沼袋区民活動センター 洋室2	64.96㎡	42人	600円
世田谷区	桜ヶ丘区民センター 第1会議室	51㎡	25人	300円
世田谷区	深沢区民センター 第3第4会議室併合	60㎡	50人	600円
練馬区	豊玉北地区区民会館 会議室1	50㎡	35人	600円

質疑では、他区が公共性を考慮した上で利用者負担割合の低減を導入していることや減価償却費等を算定から除外し、利用料負担を軽減している事例を紹介。区の使用料を引き下げよう求めました。区は見直しを表明、近隣区との均衡等も考慮すると答弁しました。

所得制限・一部負担金なし 来年度から開始

18歳までの高校生等、医療費無償化へ

第3回定例会では、岸本区長から、18歳までの医療費無償化のための条例が提案されました。

が実現 党区議団の再三にわたる要求

東京都は令和5年度より、医療費助成対象を高校生等までに拡大しますが、杉並区では助成対象者を拡大、所得制限や一部負担金を無くして実施します。これまで、杉並区では乳幼児・義務教育就学児にかかる医療費助成を実施してきましたが、18歳までの高校生等まで対象が拡大することになります。

児童にかかる医療費無償化については、党区議団は歴史的にも求め続けてきた経緯があります。古くは2005年・2006年に、医療費無償化に関する条例提案を行なっていました。

2017年の第一回定例会では、私が、杉並区として18歳までの医療費無料化の実施に踏み出すことを求める一般質問も行ないました。前区政では実現しませんでした。岸本区政のもとで実現することになりました。

医療費無償化の概要について

都制度においては所得制限等が設けられているが、杉並区では、子育て支援の観点から、既存の乳幼児及び義務教育就学児医療費助成制度と同様に、所得制限及び一部負担金は設けない。

	所得制限	一部負担金
杉並区	なし	なし
東京都	児童手当制度に準拠	通院1回当たり 200円